



海老江西小学校

所在地 〒553-0001 福島区海老江 8-1-10

電話番号 6451-3300

標準服 有り

校長名 栗山 功

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531067>



学校概要

本校は令和8年に、創立112周年を迎える歴史と伝統ある学校です。児童数158名と家族的な雰囲気です。また同じ敷地内に「海老江西幼稚園」(今年度末で休園)が併設されており、毎年、幼小で合同開催の運動会や作品展の相互鑑賞を行っています。また、1～6年生で構成するたてわり班活動も活発で、たてわり清掃や児童集会、全校遠足など小規模校ならではの子どもたちの「心の教育」につながっています。通学区域内にある「八坂神社」では、地車が巡行する夏祭りが盛大に行われます。人情味のある地域の方々に見守られて、子どもたちは安心・安全にすくすくと育っています。

沿革

大正3年 大阪府西成郡鷺洲第三尋常小学校として開校
昭和16年 大阪市海老江西国民学校と改称
昭和22年 大阪市立海老江西小学校と改称
昭和59年 講堂およびプール竣工
平成2年 現在の校舎竣工
平成26年 創立100周年記念式典挙行
令和2年 学校情報化優良校認定
令和3年 エレベーター新設
令和5年 学校情報化優良校更新
令和6年 創立110周年お祝い集会実施

児童数(令和8年5月1日現在)

学年	男子	女子	計	学級数
1	20	13	33	1
2	9	9	18	1
3	10	12	22	1
4	13	16	29	1
5	14	14	28	1
6	14	14	28	1
特別支援学級				3

令和7年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

国語	算数	理科
69	62	56

(平均正答率%) 小学6年生

これまでの成果と今後の課題

主体的で対話的な深い学びができる授業実践を今後も行っていきます。具体的には、「自律した個が響き合い、言葉の力を生活へつなぐ国語科の指導」を研究主題とした国語科の研究に全校で取り組みます。また、算数科においては、つまずきが見られる児童一人ひとりに対応していきます。今後も学校行事を充実させたり、全教職員で児童の見守りを行ったりすることで、「学校へ行くのが楽しい」と思える児童を増やしていきます。さらに、図書室だけでなく、学級文庫や読書スペースにおける図書の充実を図ることで、本にふれる場を設定し、「本を読むことが好き」と答える児童を増やす取り組みも行っていきます。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	13.75	21.15	32.38	38.23	47.15	9.59	137.69	19.15	51.58
女子	13.54	19.15	36.00	36.62	43.33	9.67	136.92	13.54	53.58

これまでの成果と今後の課題

(平均値) 小学5年生

「マット運動週間」「とび箱週間」「鉄棒週間」「なわとびタイム」「大なわタイム」などの強調週間の設定や、児童が進んで体を動かしたくなるような体育授業での工夫、各学級における「みんな遊び」、養護教諭による保健指導など、本校がこれまで取り組んできた「児童が運動に親しみ、運動好きになる」ような取り組みが実を結び、「運動やスポーツをすることが好き」と答える児童の割合は、90%を上回っています。今後も引き続き、これまでの取り組みを進めていきます。

また、男女共に全国平均を下回った4種目(握力・長座体前屈・反復横とび・立ち幅とび)のうち、「握力」と「立ち幅とび」の2種目に大きな課題がみられました。よって、握力の向上に関しては、体育学習時に鉄棒運動に意識して取り組んでいきます。また、立ち幅とびの向上に関しては、瞬発力を意識した取り組みを行っていくとともに、ICTを活用して立ち幅とびのコツをつかませ、より良い動きになるように工夫していきます。

詳しくは本校ホームページをご覧ください。 福島区 海老江西小学校

海老江西小学校の教育

～学校教育目標～ 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる

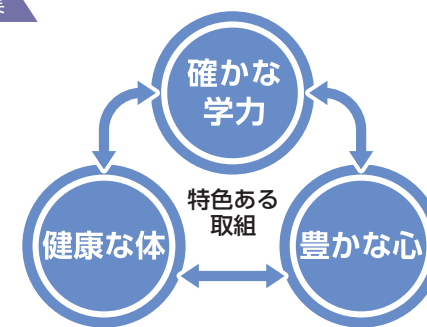


ICT機器活用や体験活動の充実

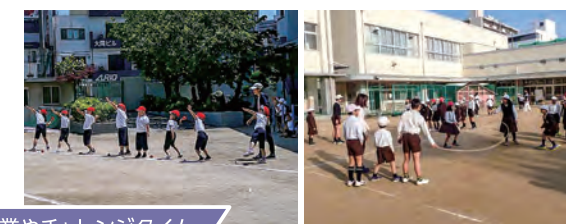
各階に自由に本を読むことができる読書スペース



作品展は幼小相互鑑賞



たてわり班での様々な活動



出前授業やチャレンジタイムなど運動環境の工夫



歯みがき見守り隊や小学校体験など幼稚園との交流



ふれあいタイムや防災学習など地域と連携した活動の充実



子どもたちどうしの「つながり」や先生との「つながり」、地域との「つながり」など人と人の「つながり」を大切にしたい教育を行っています。

運営に関する計画(一部抜粋)

安全・安心な教育の推進

●小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にします。

●小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にします。

未来を切り拓く学力・体力の向上

●小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.001ポイント向上させる。

●小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を80%以上にします。

学びを支える教育環境の充実

●小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にします。